

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1472000577	事業の開始年月日	平成14年5月1日	
		指定年月日	平成14年5月1日	
法人名	有限会社 花企画			
事業所名	グループホーム 湘南の宙と風			
所在地	(254-0013) 神奈川県平塚市田村5-3-6			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	17名	
		ユニット数	2 ユニット	
自己評価作成日	平成21年11月20日	評価結果 市町村受理日	平成22年1月7日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>*ご利用者の希望と健康状態に合わせた手作りでバランスの取れた美味しいお食事が提供出来る様に、栄養士のアドバイスを参考にしながら、ご利用者と一緒にメニュー作りから考えています。(加工食品、冷凍食品は原則使用しないように努めている)</p> <p>*希望者にはご家族同意のもと、くもん学習療法を取り入れており、ご利用者お一人お一人に合った教材を、楽しみながら学んで行ける様に支援をさせて頂いています。</p>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成21年12月11日	評価機関 評価決定日	平成21年12月29日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>◇法人の理念、「一人ひとりの個性と希望を大切にし、人として尊び、生きる喜びを最大限に引き出し、明るく健康的な生活を創造して頂く」を基本にして、ケアカンファレンスや職員会議、日常の申し送りを通して、全職員が理念をサービスの反映に努めている。</p> <p>◇24時間の医療連携体制があり、内科(月2回)、歯科(随時)、看護師(毎週)により利用者の健康を維持している。また、全職員が毎月開催するモニタリング結果の検討会議とケアカンファレンスに参加して、適切な介護計画の作成と運用に努めている。</p> <p>◇車椅子の利用者を含めて散歩、買い物、毎月の行事や外出への参加を支援し、地域との接触の機会を維持している。</p> <p>◇職員の意欲の向上と資格取得によるレベルアップを支援している。個々の職員が年間目標を定め、管理者が年2回面接し進行状況の確認を通して意見交換している。また、外部講師による内部研修、全国抑制廃止研究会などへの参加による外部研修に参加しており、研修結果を事業所に報告し、職員会議で報告して研修成果を共有している。新採用職員は、接遇、認知症理解などの内部外部研修を通じ育成に努めている。</p>
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

湘南の宙と風

事業所名	グループホーム湘南の宙と風
ユニット名	グループホーム湘南の風

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	*	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	*	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	*	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	*	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	*	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	*	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	*	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	*	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	*	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	*	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	*	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	*	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	*	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

湘南の宙と風

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ご利用者が住み慣れた地域で思いのままに暮らして行けるように、運営理念に大きく掲げ、理念達成の為に、日々ご利用者一人一人に合わせて支援をさせて頂いている。	・代表者が創業時に作成した理念を、玄関、フロア事務所に掲示している。 ・全職員が参加する職員会議等で、理念がサービスに反映しているかを話し合っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の方とは、買い物時の挨拶等を通じて交流を深めている。また、交流が出来るようにホームにて行事を企画し地域の方々とのふれあいを大切にしている。	・散歩、買い物、外食などに出かけ、地域での生活を継続するように支援している。 ・自治会には加入していないが、清掃などの町内の行事に参加している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域包括支援センターより、地域での介護相談窓口的な役割やイベント時は認知症ケアに関する公演に依頼があり、何時でも対応出来る様に日々準備を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的な開催に努め、ご家族や地域からの要望や提案は大切に受け止め、出来るだけ早く取り入れサービスの向上に活かしている。より地域に根ざし、共に歩んで行けるGH作りを心掛けている。	・概ね2か月ごとに開催し、市の福祉総務課、及び地域包括支援センターの職員、民生委員、家族が参加している。事業所の運営状況を報告後、意見交換をしてサービスに反映している。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議開催の際は、地域包括支援センターの職員に参加をさせて頂いている。生活保護を受給されている方のご家族として福祉総務課の方にも参加を依頼し意見交換や情報収集を行い協力関係を築いている。	・行政手続き、利用者の状況報告、インフルエンザ予防接種の承諾や家族からの問い合わせに関する照会など、市役所担当者との連携がとれている。	

湘南の宙と風

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関してはマニュアルを作成、周知出来る様に定期的に職員会議等で議題にし全ての職員が正しく理解し実践出来る様に努めている。センサーの撤去も含め工夫、考察をしている	・職員は内部や外部の研修に参加し、身体拘束をしないケアを理解し実践をしている。 ・玄関は防犯上施錠しているが、利用者の意思で開錠し外へ出ることができる。事業所内では施錠していない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止法に関しては、積極的に職員を研修に参加させ学べる機会を作っている。さらに職員会議時、研修発表を実施し全ての職員が理解し防止出来る様に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護や成年後見人制度を利用されている方が入居されているが、多くの職員は制度を理解していないのが現状。今後はパンフレット等を利用し職員会議やミーティングを活用しより多くの職員が制度を理解できる様に促して行きたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、説明に対しては十分な時間をとり、理解が得られるように努めている。また、説明後に対しても疑問等の確認を行いながら契約を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者やご家族が職種を問わず提案や不満を話せる様にホーム内の雰囲気作りに努めている。ご要望や苦情には対応と改善を行い、外部としては、介護相談員を導入している。	・苦情相談窓口は重要事項説明書に明示している。 ・苦情相談等は、懇談会、来訪、電話連絡の機会に家族の意見を聞き、管理者と職員が相談し対応している。	

湘南の宙と風

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者が、職員の意見を聞き運営者へ報告を行ったり、職員会議等を用いて意見を反映させている。	・管理者が職員と年2回面談して、個人目標の達成状況を話し合い、また、日常のコミュニケーションを通じて意見、要望を把握し対応している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員が目的を持って就業が出来る様に、運営目標を個々の職員が作成し、その目標が達成できるように、目標面接を実施している。代表者は、面接が適切に行える様に、更に継続支援上手く出来る様に管理者へ提案やアドバイスを常時行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は職員個々の現状を把握し、研修計画を考察し管理者と協議しながら適宜な研修参加に努めている。内部研修についても同様に全体職員に対し、必要な研修の実施に心がけている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	管理者は県のグループホーム協議会に加入し、職員も研修参加や同業者との交流の機会を持っている。更に市グループホーム連絡会での意見交換や相互研修参加等により交流の機会を持っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面接を行い、その際に本人が困っている事も含め、状況の確認を行っている。利用開始日には、面接を行った職員が出来るだけ迎えることが出来るように配慮している。		

湘南の宙と風

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談時は、お話を伺いながら、利用する方の状況を把握し、要望や不安の思われている事にお答えしながら少しずつ安心をして頂ける様に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた時、まず必要とされるサービスが当方が提供させて頂いているものでない場合は、助言を行い、他サービスがスムーズに受けられる様に支援を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は支援者という立場だけではなく、一緒に成長して行ける家族の一員の様になり、常に利用者として協力し色々な事を教えて頂きながら時間を共有している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日常の支援状況を報告しながら、ご家族へ協力を依頼している。またより良い関係が築いて行ける様に一緒に楽しんで頂ける行事やイベントを企画し、ふれあいの場作りに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会や外出など、出来るだけご本人の意向に沿って気軽に行なえる様に配慮を行っている。いつまでも馴染みの関係が継続出来るように支援に努めている。	・知人との面会や入居以前から続けている集会への参加などを通じて、馴染みの人との関係を維持している。 ・食材の買い物など、地域との接触を維持するように支援している。	

湘南の宙と風

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者間の関係の把握に努め、補佐的になりながら孤立しないように、交流を通じ支え合える様に支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご要望に応じ、ご家族には継続して相談や助言を行い、必要性に応じ他サービス利用に向け連絡、調整も行っている。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の希望や意向の把握に努め、問題視点の支援計画にならないように注意して作成している。主訴が出来ない方は情報収集と様子観察を行い、新たな可能性の発見やニーズ把握に努め、より良い支援計画が作成できるようにしている。	・利用者の立場で考えることを基本にし、日々の会話、家族からの情報、表情の変化や仕草から、利用者の思いや意向を把握して、本人へのサービスに反映している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に情報として聞き取りを行い、又、入居後も会話等で新しく入手した情報も共通認識が出来る様にケース会議等で報告し合い、チームでケアが行える様に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりが心地よく過ごして頂ける様に、日々変化しているご入居者の様子観察を行い状況の把握に努めチームにて支援方法を考察し対応している。		

湘南の宙と風

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	多くの職員で意見を出し合い工夫しながら支援計画を作成している。ご家族へも送付し、意見や希望、提案を出して頂き支援計画に盛り込み反映出来る様に作成している。	・毎月、全職員参加で行われるケース会議にて、モニタリング結果を検討し介護計画の見直しを行っている。 ・6か月毎に介護計画（案）をご家族に送付し、ご意見と承諾を頂いている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	全職員が、気づきや工夫を支援計画に沿って記載出来る様に書式変更している。現在も継続して多くの職員で記載を行い、情報の共有とより良い支援計画の作成に活用している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人やご家族の希望や要望に対して、柔軟に対応できるように事前の準備や連絡調整を行いながら多くのご要望に対応出来る様に努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域ボランティアに協力を依頼しながら、余暇支援の協力を頂いている。その他に民生委員から、地域でのボランティアのお話を伺っており、今後調整を進め、ご入居者の楽しみの一つにしていけたらと思っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療機関の選択は、ご家族に一任している。協力医療機関の説明に関しては、入居時に行い、ご意向に沿って適切な医療が受けられる様に支援をしている。	・内科(月2回)、歯科(随時)、訪問看護師(毎週)による訪問診療により利用者の健康を維持している。 ・かかりつけ医の選択は家族に一任している。	

湘南の宙と風

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ご入居者の状況を細かく観察し協力医療機関の看護師と情報を共有し相談報告している。法人の訪問看護ステーションから看護師が週一回来て、気づきや変化の状況を伝え適切な看護が可能な状況となっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者との情報交換や相談を含め積極的に行っている。また、退院後に関しても、情報提供して貰う機会を作り、居室の整備や状況を職員に周知することが出来るように連携に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	法人として、終末期ケアに関する指針を作っている。また、ご家族には懇談会等で方針を伝え全体で共有出来る様に努めている。終末期ケアに関しは、主治医や訪看、ご家族の協力を得ながら別ユニットで実現した例がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・終末期ケアに関する指針がある。 ・重度化した場合は、家族、医師と連携して、その都度適切に対応している。 ・職員はターミナルケアに関する内部研修、外部研修に参加している。 	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを整備し全ての職員が対応出来るように事があるごとにミーティング等で再確認、再認識を促しているが、定期的な訓練等はない。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年4回の防災訓練で、火災や地震想定を計画的に実施し、9月1日震災記念日には、駐車場にて炊出しを利用者で行っている。また、夜間を想定した緊急時の対応訓練や消防署の協力を得て119番通報訓練も実施し、防災意識を高めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・火災、地震、夜間通報を想定した避難訓練を年4回行った。利用者が全員参加している。昨年12月は消防署の協力を得て通報訓練を行っている。 ・防災倉庫があり、飲料水、非常用食糧を備蓄している。 	

湘南の宙と風

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人の尊重に対する声掛けや配慮は日々の生活の中で薄れてしまう傾向が強いため、職員全体に内部研修や職員会議等で教育や促しを行ない継続的に注意している。	・職員は、日々利用者一人ひとりの人格を尊重し、プライバシーを損ねない対応に心がけている。 ・年1回声掛けなどの接遇に関する内部研修を行っている。 今年度は11月に実施した。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個人の状況に合わせ、思いや希望を表し易い様に働きかけに配慮している。自身の希望や自己決定が出来難い方には、質問方法を工夫し、表現しやすい様に配慮した対応を心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者個々が、自身のペースにて生活をして頂ける様に配慮している。食事や入浴時間も個々の状況に合わせて変更し希望や意向に沿って支援をしている。レクへの参加等も意向を伺いし希望に沿って参加をして頂いている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	一人ひとりのこだわりや好みに合わせ出来るだけ支援を行っている。石鹸の匂いやファンデーションの品番等もご家族に情報を頂きながら対応を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日、入居者と一緒に希望を伺いながら献立の作成をしている。また、買い物、食事の下拵えや準備についても個々の状況に合わせて、協力して頂いている。	・職員が、毎日利用者の希望を聞きながら献立を考え、利用者と一緒に買い物、調理をし、皆で食事を味わっている。カロリー、塩分量などは栄養士が週1回チェックしている。	

湘南の宙と風

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの状況に応じ医師や栄養士と連携を取りながら総合的に支援を行っている。水分摂取量に関してはその方に応じ摂取表等を記入しながら水分が確保出来る様に支援をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個別の支援計画に基づき対応し、個人の生活暦に合わせた、口腔ケアへの働きかけを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄状況を観察し、その方に合わせて支援を行っている。出来るだけ同姓で支援を行い、トイレにて気持ち良く排泄が行なえる様に配慮を行っている。又ご本人の意向を大切にし、状況に応じてパット等の使用を減らして行ける様に支援を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の表情やしぐさから、尿意をくみ取り、さりげなく誘導している。 ・段階を踏みながら自立への支援を目指している。 ・排泄状況の記録様式を検討中である。 	検討中の排泄の記録様式を確立して、個々の利用者にあった排泄の事前誘導、さらには、自立に結びつくように活用されることを期待します。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一人ひとりの状況に応じ便秘の原因を考察、水分量や運動量を増やせるように促したり、医師には状況の変化等細かく伝え下剤の調節等を行い出来るだけ心地よく排泄が出来る様に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴に関しては、基本的に毎日実施し、身体状況や意向に沿って柔軟に入浴支援を行っている。また、入浴に関しては、最低週2回の入浴が確保できるように配慮をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日午後に入浴時間を設けている。通院や外泊の前に要望があれば、午前の入浴も可能である。 ・入浴を好まない利用者には、足浴、シャワー浴を支援している。 	

湘南の宙と風

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝前に牛乳を飲んだり、個人が安心して就寝できるように柔軟に対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服用している内容は、常時職員が見ることが出来るようにファイルで、服薬変更時には、連絡ボードを使用し共有している。服薬対応時の注意事項に関しても同様に連絡ボードにて共有し、さらに薬箱にはり紙をして確認が出来る様に対応している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の状況に合わせて役割を見出しながら、日々の生活に配慮している。また生活暦等から、その方の趣味や出来る事を生かし、生活に活気と張りが持てるように支援を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけるように支援している	ご本人の希望にて散歩や買い物へ出掛けている。また個人の状況により、ご家族に協力依頼している。行事としての外出は、概ね月に1度の外出行事を計画している。	<ul style="list-style-type: none"> ・天気がよければ、散歩や買い物に出かけ、馴染みの店で買い物をしている。 ・概ね月1回、外出行事を計画し外食を楽しんでいる。 	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居契約時に所持金の管理の説明を行い、所持に関してはご家族に一任するが、紛失してもかまわない金額にてお願いしている。また、自己管理の困難な方については、立替金にて対応し、買い物を楽しんでいただけるように配慮している。		

湘南の宙と風

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族や知人からの電話や手紙があった時は、速やかにお伝え出来る様に配慮を行っている。電話希望時も同様に対応し、手紙等は、ご利用者の状況に応じ職員が支援をさせて頂いている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は、心地よく過ごして頂ける様に、照明や音、装飾品に配慮を行っている。また、季節を感じて頂ける様にその時期その時期に合った飾り付けも入居者様と一緒にを行い、会話等を楽しみながら飾り付けの作業を行っている。	・居間には、天窓やベランダがあり、明るい雰囲気、室温・換気、家具の配置にも留意し、くつろげる空間を提供している。 ・トイレ・浴室共に清潔でプライバシーが確保されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにはソファを置き、入居者同士の交流が持てる場所を作っている。居室だけではなく、玄関フロアもマッサージチェア等を置き、一人でも心地よく過ごすことが出来るような環境作りに努めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	以前のライフスタイルを出来るだけ崩さない様に、入居の際に、ご本人が使用していたものを出来るだけ持参頂けるようお願いしている。	・居室に馴染みの家具を置き、また、畳の居室を設けるなど、利用者の好みに対応している。 ・布団干しや衣類の整理は個々の習慣を重視し、職員が一緒に行っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	玄関からユニットまでの長い階段には数字を記載し楽しみながら階段を上れる様に工夫がされている。玄関周辺のプランターにはお花を植え、手入れや水遣りを一緒に行い鑑賞を楽しんでいる。		

事業所名	グループホーム湘南の宙と風
ユニット名	グループホーム湘南の宙

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	*	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	*	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	*	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	*	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	*	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	*	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	*	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	*	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	*	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	*	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	*	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	*	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	*	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

湘南の宙と風

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ご利用者個々が住み慣れた地域にて思いのままに暮らして行ける様に、運営理念に大きく掲げ、理念達成の為に、日々ご利用者一人一人に合わせて支援をさせて頂いている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の方とは、買い物時の挨拶等を通じて交流を深めている。また、交流が出来るようにホームにて行事を企画し地域の方々とのふれあいを大切にしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域包括支援センターより、地域での介護相談窓口的な役割やイベント時は認知症ケアに関する公演に依頼があり、何時でも対応出来る様に日々準備を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的な開催に努め、ご家族や地域からの要望や提案は大切に受け止め、出来るだけ早く取り入れサービスの向上に活かしている。より地域に根ざし、共に歩んで行けるGH作りを心掛けている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議開催の際は、地域包括支援センターの職員に参加をさせて頂いている。生活保護を受給されている方のご家族として福祉総務課の方にも参加を依頼し意見交換や情報収集を行い協力関係を築いている。		

湘南の宙と風

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関してはマニュアルを作成、周知出来る様に定期的に職員会議等で議題にし全ての職員が正しく理解し実践出来る様に努めている。センサーの撤去も含め工夫、考察をしている		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止法に関しては、積極的に職員を研修に参加させ学べる機会を作っている。さらに職員会議時、研修発表を実施し全ての職員が理解し防止出来る様に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護や成年後見人制度を利用されている方が入居されているが、多くの職員は制度を理解していないのが現状。今後はパンフレット等を利用し職員会議やミーティングを活用しより多くの職員が制度を理解できる様に促して行きたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、説明に対しては十分な時間をとり、理解が得られるように努めている。また、説明後に対しても疑問等の確認を行いながら契約を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者やご家族が職種を問わず提案や不満を話せる様にホーム内の雰囲気作りに努めている。ご要望や苦情には対応と改善を行い、外部としては、介護相談員を導入している。		

湘南の宙と風

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者が、職員の意見を聞き運営者へ報告を行ったり、職員会議等を用いて意見を反映させている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員が目的を持って就業が出来る様に、運営目標を個々の職員が作成し、その目標が達成できるように、目標面接を実施している。代表者は、面接が適切に行える様に、更に継続支援上手く出来る様に管理者へ提案やアドバイスを常時行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は職員個々の現状を把握し、研修計画を考察し管理者と協議しながら適宜な研修参加に努めている。内部研修についても同様に全体職員に対し、必要な研修の実施に心がけている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	管理者は県のグループホーム協議会に加入し、職員も研修参加や同業者との交流の機会を持っている。更に市グループホーム連絡会での意見交換や相互研修参加等により交流の機会を持っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面接を行い、その際に本人が困っている事も含め、状況の確認を行っている。利用開始日には、面接を行った職員が出来るだけ迎えることが出来るように配慮している。		

湘南の宙と風

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談時は、お話を伺いながら、利用する方の状況を把握し、要望や不安の思われている事にお答えしながら少しずつ安心をして頂ける様に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた時、まず必要とされるサービスが当方が提供させて頂いているものでない場合は、助言を行い、他サービスがスムーズに受けられる様に支援を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は支援者という立場だけではなく、一緒に成長して行ける家族の一員の様になり、常に利用者と共に色々な事を教えて頂きながら時間を共有している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日常の支援状況を報告しながら、ご家族へ協力を依頼している。また、より良い関係が築いて行ける様に一緒に楽しんで頂ける行事やイベントを企画し、ふれあいの場作りに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会や外出など、出来るだけご本人の意向に沿って気軽に行なえる様に配慮を行っている。いつまでも馴染みの関係が継続出来るように支援に努めている。		

湘南の宙と風

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者間関係の把握に努め、補佐的になりながら孤立しないように、交流を通じ支え合える様に支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご要望に応じ、ご家族には継続して相談や助言を行い、必要性に応じ他サービス利用に向け連絡、調整も行っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の希望や意向の把握に努め、問題視点の支援計画にならないように注意して作成している。主訴が出来ない方は情報収集と様子観察を行い、新たな可能性の発見やニーズ把握に努め、より良い支援計画が作成できるようにしている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に情報として聞き取りを行い、又、入居後も会話等で新しく入手した情報も共通認識が出来る様にケース会議等で報告し合い、チームでケアが行える様に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりが心地よく過ごして頂ける様に、日々変化しているご入居者の様子観察を行い状況の把握に努めチームにて支援方法を考察し対応している。		

湘南の宙と風

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	多くの職員で意見を出し合い工夫しながら支援計画を作成している。ご家族へも送付し、意見や希望、提案を出して頂き支援計画に盛り込み反映出来る様に作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	全職員が、気づきや工夫を支援計画に沿って記載出来る様に書式変更している。現在も継続して多くの職員で記載を行い、情報の共有とより良い支援計画の作成に活用している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人やご家族の希望や要望に対して、柔軟に対応できるように事前の準備や連絡調整を行いながら多くのご要望に対応出来る様に努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域ボランティアに協力を依頼しながら、余暇支援の協力を頂いている。その他に民生委員から、地域でのボランティアのお話を伺っており、今後調整を進め、ご入居者の楽しみの一つにしていけたらと思っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療機関の選択は、ご家族に一任している。協力医療機関の説明に関しては、入居時に行い、ご意向に沿って適切な医療が受けられる様に支援をしている。		

湘南の宙と風

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々変化しているご入居者の状況を細かく観察し協力医療機関の看護師と情報が共有出来るよう相談報告を行っている。また、同一法人の訪問看護ステーションから健康管理のために看護師が週一回来ているので、気づきや変化の状況を伝え適切な看護が可能な状況となっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者との情報交換や相談を含め積極的に行っている。また、退院後に関しても、情報提供して貰う機会を作り、居室の整備や状況を職員に周知することが出来るように連携に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	法人として、終末期ケアに関する指針を作っている。また、ご家族には懇談会等で方針を伝え全体で共有出来る様に努めている。終末期ケアに関しては、主治医や訪看、ご家族の協力を得ながら当ユニットで実現した例がある。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを整備し全ての職員が対応出来るように事があるごとにミーティング等で再確認、再認識を促しているが、定期的な訓練等は行っていない。		

湘南の宙と風

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年4回の防災訓練では、火災想定や地震想定を計画的に実施し、9月1日震災記念日では、ホーム駐車場にて釜を使用して炊出しを利用者とともにやっている。また、夜間を想定した緊急時の対応訓練や消防署の協力を得て119番通報訓練も実施し、防災意識を高めるように努めている。		

湘南の宙と風

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人の尊重に対する声掛けや配慮は日々の生活の中で薄れてしまう傾向が強いので、職員全体に内部研修や職員会議等で教育や促しを行ない継続的に注意している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個人の状況に合わせ、思いや希望を表し易い様に働きかけに配慮している。自身の希望や自己決定が出来難い方には、質問方法を工夫し、表現しやすい様に配慮した対応を心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者個々が、自身のペースにて生活をして頂ける様に配慮している。食事や入浴時間も個々の状況に合わせて変更し希望や意向に沿って支援をしている。レクへの参加等も意向を伺いし希望に沿って参加をして頂いている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	一人ひとりのこだわりや好みに合わせ出来るだけ支援を行っている。石鹸の匂いやファンデーションの品番等もご家族に情報を頂きながら対応を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日、入居者と一緒に希望を伺いながら献立の作成をしている。また、買い物、食事の下拵えや準備についても個々の状況に合わせて、協力して頂いている。		

湘南の宙と風

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの状況に応じ医師や栄養士と連携を取りながら総合的に支援を行っている。水分摂取量に関してはその方に応じ摂取表等を記入しながら水分が確保出来る様に支援をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個別の支援計画に基づき対応し、個人の生活暦に合わせた、口腔ケアへの働きかけを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄状況を観察し、その方に合わせて支援を行っている。出来るだけ同姓で支援を行い、トイレにて気持ち良く排泄が行なえる様に配慮を行っている。又ご本人の意向を大切にし、状況に応じてパット等の使用を減らして行ける様に支援を行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一人ひとりの状況に応じ便秘の原因を考察、水分量や運動量を増やせるように促したり、医師には状況の変化等細かく伝え下剤の調節等を行い出来るだけ心地よく排泄が出来る様に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴に関しては、基本的に毎日実施し、身体状況や意向に沿って柔軟に入浴支援を行っている。また、入浴に関しては、最低週2回の入浴が確保できるように配慮をしている。		

湘南の宙と風

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝前に牛乳を飲んだり、個人が安心して就寝できるように柔軟に対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服用している内容については、常時職員が見ることが出来るようにファイルを作成し、服薬変更時には、連絡ボードを使用し共有できるように対応している。服薬対応時の注意事項に関しても同様に連絡ボードにて共有し、さらに薬箱にはり紙をして確認が出来る様に対応している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の状況に合わせて役割を見出しながら、日々の生活に配慮している。また生活歴等から、その方の趣味や出来る事を生かし、生活に活気と張りが持てるように支援を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけるように支援している	ご本人の希望にて散歩や買い物へ出掛けている。また個人の状況により、ご家族に協力依頼している。行事としての外出は、概ね月に1度の外出行事を計画している。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居契約時に所持金の管理の説明を行い、所持に関してはご家族に一任するが、紛失してもかまわない金額にてお願いしている。また、自己管理の困難な方については、立替金にて対応し、買い物を楽しんでいただけるように配慮している。		

湘南の宙と風

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族や知人からの電話や手紙があった時は、速やかにお伝え出来る様に配慮を行っている。電話希望時も同様に対応し、手紙等は、ご利用者の状況に応じ職員が支援をさせて頂いている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は、心地よく過ごして頂ける様に、照明や音、装飾品に配慮を行っている。また、季節を感じて頂ける様にその時期その時期に合った飾り付けも入居者様と一緒にを行い、会話等を楽しみながら飾り付けの作業を行っている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにはソファを置き、入居者同士の交流が持てる場所を作っている。居室だけではなく、玄関フロアもマッサージチェア等を置き、一人でも心地よく過ごすことが出来るような環境作りに努めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	以前のライフスタイルを出来るだけ崩さない様に、入居の際に、ご本人が使用していたものを出来るだけ持参頂けるようお願いしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	玄関からユニットまでの長い階段には数字を記載し楽しみながら階段を上れる様に工夫がされている。玄関周辺のプランターにはお花を植え、手入れや水遣りを一緒に行い鑑賞を楽しんでいる。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム湘南の宙と風

作成日 22 年 1 月 5 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	43	個々の排泄状況を観察し、その方にあわせて排泄支援を行っているが、排泄面自立に向けて具体的な取組み方法は確立していない。	ご入居者、個々の排泄状況を細かく把握し、その方に合わせ段階的に支援方法を考察し、排泄面の自立に向けて取り組んでいく。	現在検討中の排泄状況の記録様式を確立し、ご入居者の排泄状況把握に努め、一人ひとりの排泄パターンに合わせた自立へ向けての支援方法を考察して行く。	6か月
2	26	ケース会議にて事前に検討議題が周知されておらず、参加者が会議に向けて準備が出来ていない為、論点が反れてしまう事がある。	検討議題が事前に周知され、参加者からは多くの意見が論点に沿って効率よく議論される様になり、より多くの課題に取り組む事が出来る様になる。	一週間位前に検討議題やサービスプランを掲示し会議に向け意見の準備をして頂く。その他、改善点等の意見があれば出して頂き並行して取り組んでいく。	6か月
3	13	新任職員に対する詳細な教育マニュアルが無い。	新任職員がスムーズに業務を遂行して行ける様になる。	現在検討中の新任職員教育マニュアルを確立し、段階的に教育を実施していく。	6か月
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。